



同じ展示会のプレスリリースを姫路市立美術館からも発表しております。

News Release
報道関係各位

2024年11月28日
公益社団法人 姫路観光コンベンションビューロー

姫路市立美術館にて、隈研吾が自らの建築世界を読み解く
『隈研吾の「コツゴツ」哲学
過去から未来へ生き残るデザイン — 高田賢三へのオマージュ
The Museum Collection Meets KUMA Kengo』を開催
姫路出身の世界的デザイナー高田賢三へのオマージュ作品も展示

姫路市立美術館は、『隈研吾の「コツゴツ」哲学 過去から未来へ生き残るデザイン — 高田賢三へのオマージュ The Museum Collection Meets KUMA Kengo』を2024年12月7日（土）～2025年2月2日（日）の期間で開催します。姫路市立美術館では、ひめじ全域が擁する地域文化をアートのかで市民ライフの糧として再発見するとともに、新たな姫路の魅力を国内外に発信するアートプロジェクト「オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト (<https://www.city.himeji.lg.jp/art/0000023985.html>)」を推進しており、今回の展示会は本プロジェクトの一環として開催します。

「姫路は日本建築の聖地である」という世界的建築家・隈研吾は今年、姫路城、書寫山圓教寺（姫路市書写）、姫路市立美術館という姫路市の三大建築美の本質を「ツツツ」「パラパラ」「コツコツ」というオノマトペで表現した「隈研吾流オノマトペで見る建築 姫路編」を開催しました。

今回の展示会では、オノマトペ「コツコツ」を発展させた「コツゴツ」をキーワードに、約30点の模型等を通じて自らの建築作品を読み解きます。また、隈研吾がリノベーションを行った、姫路市出身の世界的デザイナー高田賢三がパリに構えていた旧邸宅「Takada Kenzo House」を再現した模型や、姫路市立美術館が所蔵する高田賢三の作品なども展示します。



隈研吾 ©Designhouse



Takada Kenzo House ©Jimmy Cohrsen

■開催概要

開催日 : 2024年12月7日（土）～2025年2月2日（日）
休館日 : 月曜日（1月13日は開館）、年末年始（12月28日～1月3日）、1月14日（火）
観覧料 : 一般700（500）円、高大400（200）円、小中200（100）円
※かっこ内は団体料金（20名以上）
会場 : 姫路市立美術館 企画展示室

展示構成 : 第1章 隈研吾の「コツコツ」と「コツゴツ」

関係する隈研吾作品の紹介パネル、写真、模型、モックアップなど

第2章 「コツゴツ」の旧高田邸 (Takada Kenzo House) -再現インスタレーション

当館所蔵の高田賢三の遺愛品・作品と映像・モックアップを使った大型インスタレーション

プロジェクト展示 (企画展示室入口にて実施)

書寫山圓教寺×隈研吾 はづき茶屋プロジェクト

姫路の伝統的な地場産業であるマッチを使ったパビリオン

詳細は、姫路市立美術館 HP <https://www.city.himeji.lg.jp/art/0000029261.html>

■ 展示のみどころ

1 独自のオノマトペ「コツゴツ」で紐解く隈研吾の建築世界

今年、世界的建築家である隈研吾は、姫路城、書寫山圓教寺、姫路市立美術館という姫路市の三大建築美の本質を「ツツツ」「パラパラ」「コツコツ」というオノマトペで表現しました。本展ではさらに、「コツコツ」を発展させた独自のオノマトペ「コツゴツ」をキーワードに、約 30 点の模型等を通じて自らの建築作品を読み解きます。

2 Takada Kenzo House 再現：響き合う 2 人の巨匠のデザイン思考

姫路出身の世界的デザイナー・高田賢三がパリに構えていた旧邸宅は、彼のデザイン哲学の集大成とされており、隈研吾によるリノベーションを経た現在の姿は、2 人の巨匠の協働作品と位置付けることができます。本展では、この Takada Kenzo House の模型を新たに制作して展示するとともに、その内装の一部を再現。さらに、姫路市立美術館が所蔵する高田賢三の作品や遺愛品も展示します。

3 書寫山圓教寺「はづき茶屋」の将来像を新作模型により披露

隈研吾が敬愛する建築家・武田五一の設計による摩尼殿と対面して建つ書寫山圓教寺の「はづき茶屋」。参籠者が身を清めた湯屋を起源とし、その名は和泉式部が詠んだ和歌に由来します。こうした書寫山圓教寺の歴史と文化を踏まえながら、武田五一との建築的対話を通じて、隈研吾が「はづき茶屋」の将来のイメージを提案。その成果が新作模型の展示により披露されます。

■ お得な交通割引情報

① 山陽電車「姫路市立美術館きっぷ」

姫路市内各駅からの往復きっぷと入館券引換券がセットでお得！

詳細はホームページで！



② 神姫バス「しろのまちめぐり 2DAY きっぷ」

姫路城、美術館、書寫山圓教寺をお得にめぐるセット券です。

詳細はホームページで！



【隈研吾氏が登壇！関連イベント】

* イベントへのお申込みは、姫路市立美術館ホームページ内の応募フォームから。

<https://www.city.himeji.lg.jp/art/0000029321.html>

1. オールひめじ・アーツ&ライフ・フォーラム 2024

姫路の新たな文化的魅力を国内外に発信する、「オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト」の一環として開催されるトークイベント。隈研吾をはじめとするコア・アーティストをお招きし、これまでの姫路における取り組みを振り返りつつ、最新の仕事の展開や現代社会におけるアートの役割などについて自由にトークを行っていただきます。

日時：12月7日（土）13：00～16：00

場所：アクリエひめじ 中会議室 402・403（姫路市神屋町 143-2）

出演：隈研吾氏、日比野克彦氏、チームラボ、大樹玄承氏（書寫山圓教寺長史）ほか

定員：120名（応募多数の場合は抽選）

2. 講演会『『コツコツ哲学』で今ここから世界を考えるー22世紀へのパースペクティブ』

日時：1月12日（日）14：00～15：30 講師：隈研吾氏

場所：姫路市立美術館 2階講堂

定員：80名

備考：本展の入場券が必要

【「姫路建築めぐりマップ」をお配りしています！】

姫路が「建築の聖地」であるという隈研吾のコメントとともに、姫路城周辺や書寫山圓教寺の計12か所の建築を紹介するマップです。それぞれの建築について、姫路市立美術館学芸員によるおすすめの隈先生のこぼれ話を掲載。姫路市立美術館にて無料で配布しています。

【姫路市立美術館について】 <https://www.city.himeji.lg.jp/art/>

姫路市立美術館は、白鷺にたとえられる世界文化遺産 姫路城の素晴らしい景観の中にあります。この赤レンガ造りの建物は、戦前は陸軍の施設として、戦後は姫路市役所として長く使われ、1983年4月に美術館として開館しました。庭園には13体の彫刻が設置され、市民の憩いの場として親しまれています。



美術館の周辺観光情報は、ひめのみち (<https://www.himeji-kanko.jp/>) をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ】

姫路市立美術館 TEL：079-222-2288

姫路観光コンベンションビューロー TEL:079-287-3655/ Mail: hime-kanko@himeji-kanko.jp